

神戸市会だより

2026年

2月
No.228

ホームページでは神戸市会の最新情報をご覧いただけます。

神戸市会 | 検索

広報紙KOBEより抜き出してお読みください。

2026年の定例市会がスタート

2月議会の開会によせて

阪神・淡路大震災から30年の区切りを越え、新しい年を迎える。神戸空港の国際化、ウォーターフrontの再開発、都心・三宮の再整備など、神戸の魅力向上させる取り組みが次々と花開く一方で、少子・高齢化に伴う人口減少の加速、長引く物価高騰、社会保障関係費の増加といった社会課題から、地域ニーズに応じた多様な課題まで、さまざまな課題が発生しております。神戸市会は、幅広い見地と、多角的な視点による活発な議論を通して、これらの課題の解決を図ってまいります。



議長
菅野 吉記



副議長
川内 清尚

2月17日に開会する2月議会は、2026年度の予算案を審議する重要な議会です。市民ニーズが多様化し、神戸市を取り巻く環境の変化が加速化する中、私たちは、神戸の将来を見据え、人口減少社会に応じた持続可能なまちづくりを進めていく必要があります。

子育て・教育施策の充実や市民福祉の向上、神戸経済の活性化など、市民の皆さまが幸せをより実感できるまちづくりを着実に進めるため、提案された内容を厳正に審査するとともに、政策立案・政策提言を積極的に行い、市民の暮らしの安心・安全を守るとともに、神戸がさらに魅力的なまちとなるよう、引き続き全力で取り組んでまいります。

2025年度 神戸市一般会計 補正予算などを可決

第2回定例市会【11月議会】が11月27日から12月9日まで開かれ、2025年度補正予算・条例改正の議案の審議などが行われました。

(市長提出37件、議員提出1件、合計38件)

また、12月25日・26日に臨時市会が開かれ、国の総合経済対策を踏まえた2025年度補正予算の議案の審議が行われました。

(市長提出1件)

可決した主な議案

2025年度補正予算の概要

(11月補正の主な内容)

- 森林の再生・里山の維持
 - ・KOBE備長炭実証事業
 - ・渴水応急対策支援
- その他財政需要
 - ・法改正に伴うシステム改修
 - ・市場事業費 など

(12月緊急補正の主な内容)

- 物価高対応子育て応援手当
- 学校給食における保護者負担の軽減
- 児童福祉施設などへの運営支援
- 介護・障害福祉サービス施設などへの運営支援

議員提出議案

- 神戸市市会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例
 - ・神戸市市会議員の期末手当の支給月数を年間で0.05月引き上げる改定を行いました。

人事案件

- 人権擁護委員候補者の推薦について支障なしと答申することを決定しました。



2026年の市会会期予定

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

前期集中審議期間(2月議会)
予算特別委員会

後期集中審議期間(5月議会)

前期集中審議期間(9月議会)
決算特別委員会

後期集中審議期間(11月議会)

- 神戸市会は2会期制となっています。各会期においては、2回の集中審議期間を設けています。
- 市会開会期間以外でも、6つの常任委員会、特別委員会などは、必要に応じて開催します。

第1回定例市会(2月議会)は2026年2月17日(火)から3月31日(火)の予定です。
(神戸市会 日程→)

第2回定例市会【11月議会】の動き

11/27 本会議

- 議会の委任に基づく市長専決処分などの報告
- 議席の一部変更および指定
- 2025年度補正予算などの議案の提案・質疑

12/1・2 常任委員会

- 2025年度補正予算などの議案および陳情の審査

12/5 本会議

- 人事案件の提案・採決
- 2025年度補正予算などの議案の討論・採決
- 議員提出議案の提案・質疑・討論・採決

12/8・9 本会議

- 一般質問
2・3面でご紹介
- 閉会

第2回臨時市会の動き

12/25 本会議

常任委員会

- 会期決定
- 2025年度補正予算の議案の提案・質疑
- 2025年度補正予算の議案の審査

12/26 本会議

- 2025年度補正予算の議案の採決

本会議での一般質問から

12月8日・9日の本会議では、一般質問が行われました。
その主な内容をご紹介します。

議員名（会派届出名の略称、選挙区）

録画映像は神戸市会ホームページでご覧いただけます。



12月8日

12月9日

神戸市会 中継 | 検索

くらし

12月8日の一般質問から

持続可能な森林管理のあり方

Q 森林を健全に維持するためには、適切な伐採と若い樹木を計画的に育てることが重要である。伐採した木材を枝葉に至るまで資源として循環的に利用するため、加工が難しい木材をチップ化して燃焼し、その熱源を利用する木質バイオマスボイラー（※1）を導入すれば、化石燃料削減やカーボンニュートラルに寄与できると考えるがどうか。



うえなか 美貴子 議員
(自由民主党/北区)

A 森林資源の活用と森林再生について、さまざまな可能性を検討し、資源循環量の拡大に努めている。木質バイオマスボイラーの導入は、安定した燃料供給体制の構築が必要などの課題もあるが、需要状況の把握など活用について検討したい。

12月8日の一般質問から

除草対策の最適化

Q 神戸市では、「雑草対策プロジェクトチーム」を発足させ、積極的な取り組みをしているが、市民の期待に応えているとは言い難い。現行対策は費用対効果の面でも課題があり、メリハリある対策への転換が必要ではないか。費用抑制を図りつつ、どのように除草対策を進めていくのか伺いたい。



すみどり 住本 かずのり 議員
(日本維新の会/須磨区)

A 従来の一一律的な除草に加え、場所に応じた最適な手法を組み合わせる「攻めの雑草対策」への転換を進めており、多様な手法を組み合わせ、費用抑制と景観維持の両立を図っていく。引き続き、新技術や新材料についても検討し、より効率的な雑草対策を推進していきたい。

12月8日の一般質問から

マンションの適正管理

Q 管理不全マンションが増えれば地域の住環境や防災面に影響が及ぶ。神戸市はマンション管理状況の届出を義務化したが、その実効性を確保するため、制度の趣旨の浸透や管理関係者の理解・協力を得る方法、届出者の事務負担軽減策についてどう考えているのか。



かどた 門田 まゆみ 議員
(公明党/須磨区)

A 届出制度の目的、作成方法、問い合わせ先などを、全管理組合へのダイレクトメール、広報紙やホームページ、すまいるネットの窓口、マンション関連セミナーなど、あらゆる機会を捉え周知を図る。また、義務化を契機として、オンラインによる申請システムの改善を進め、届出者の負担軽減を図りたい。

12月9日の一般質問から

須磨区のバス路線廃止・減便の撤回

Q バス路線の見直しは生活への影響が大きく、広く市民の意見を丁寧に聞いて反映し、納得が得られるように努めるべきである。地元の意見を踏まえた成案を公表するということだが、公表後も市民から取り入れるべき意見があれば柔軟に対応するということでよいか。

まえだ 前田 あきら 議員
(日本共産党/須磨区)



A 将来にわたって市民の足を確保していくためには、利用実態に即した効率的な運行体制への転換が不可欠である。地域団体への説明を行った上で成案を固め、2026年2月を目途にホームページやバス停への掲示などで周知する予定である。より多くの利用につながる意見などは取り入れていきたい。

12月9日の一般質問から

地域交流センター

Q 2026年4月以降、新たな役割を付加された地域交流センターの指定管理者として、ふれあいのまちづくり協議会が選定された場合、担い手は地域ボランティアが多いと想定される。市として地域の実情を考慮し寄り添った対応や、事務負担の軽減・発生リスクへの対応など、さらなる支援が必要ではないか。

かじ 幸夫 議員
(こうべ未来/西区)



A 可能な限り地域活動を継続していただくため、活動の支援に加え、事務負担の軽減についても検討を進めている。これまで培われた創意工夫を活かしつつ管理運営できるよう、引き続き、協議会の不安解消や新たな管理運営に向けた準備を支援していく。

12月9日の一般質問から

核兵器積載艦艇の神戸港入港拒否に関する市会決議の尊重

Q 核搭載能力を持つ艦船に対しては、日本政府や米国総領事の一般的な非核担保ではなく、非核証明書の提出を求めることが必須であり、核を有しない証明を厳格に行う必要があると考える。港湾管理者としての市長の権限をきちんと守るべきと思うが、見解を伺いたい。

あわはら 富夫 議員
(つなぐ/中央区)



A 1975年3月の核兵器を積載した艦艇の神戸港入港を一切拒否する旨の市会決議を尊重し、核兵器を搭載していないことを確認するため、これまでも慣行として非核証明書の提出を求めていた。今後も港湾管理者として、市会決議を尊重し、港湾法に基づき適法適切に事務を進めていきたい。

まち

12月8日の一般質問から

西区におけるにぎわいづくり

Q 県道65号神戸加古川姫路線は工業団地の近くを通っており、交通量が多い道路であるが、沿線の多くは市街化調整区域となっており、建築物に制限があることからにぎわいが見られない。沿線の活性化につながるよう、市街化調整区域での開発許可制度の弾力的な運用を行ってはどうか。

やました 山下 てんせい 議員
(自由民主党/西区)



A 市街化調整区域では、新たな人を呼び込むため、建築物の立地基準などの規制緩和を進めている。幹線道路沿道のサービス施設についても例外規定を設けて、弾力的な運用を図っている。今後も、地域にふさわしいにぎわいづくりを進めるため、立地基準の柔軟な運用などに努めたい。

12月8日の一般質問から

市営住宅再編事業における工事中の住民への支援

Q 市営住宅でのエレベーター後付け工事で、建物養生シートの長期間設置によるカビの発生、騒音と振動によるストレス、ガスの供給停止に伴う風呂や台所の使用制限などの負担があったと聞く。長期にわたる生活上の不便や健康面に影響を及ぼしかねない状況に対し、公平・公正な対応策が必要ではないか。

みやた きみこ 宮田 公子 議員
(公明党/西区)



A ご指摘の工事は第3次市営住宅マネジメント計画で行う初めての事例であり、入居者にご不便やご負担をおかけした点があった。今後は、風呂や台所を使えない日数にかかるわらず、同じ住宅内にある空室を代替として使えるように工夫しながら、改善に努めていきたい。

教育

12月8日の一般質問から

小中学校での金融・経済教育の必要性

Q 不確実性が高く、先行きが見通しにくい情勢が続く昨今、世の中で何が起こっているのか正確な判断と理解ができることが求められている。「生きていく力」を身につけるといった観点からも、小学校の高学年から実践的な金融経済教育を進め、時代や景気動向、環境の変化に負けない人材を育てる教育の実現が必要ではないか。

ひらた ただし 平田 正 議員
(日本維新の会/東灘区)



A 今後も社会は大きく変わっていくことが予想されるが、子どもたちが主体的に学び、これからの時代に必要な「生きる力」を身につけるため、金融経済教育についても、社会情勢に応じた学習内容や機会の充実を図るなどの工夫に努めていきたい。

12月9日の一般質問から

KOBE◆KATSU「通える範囲」と生徒が「通いたい範囲」の乖離

Q 合同コベカツ予定の有馬中から有野中、有野北中へは2.9km。大原中と広陵中の距離は3.1kmで徒歩45分、自転車16分だが坂道を避けられないで自転車は使えない。地形的状況を把握した上で合同化するのか。

うえはら 上原 みなみ 議員
(無所属/北区)



A 現在の活動を維持するには拠点化は避けられず、移動が必要になるが、自転車の活用が現実的と考えている。自転車通学校の状況を確認しながら、生徒の悩みに対しては学校で丁寧に寄り添った対応をしていきたい。

経済・観光

12月8日の一般質問から

ポートアイランドのペニンシュラ(半島)化構想

Q 新港第4突堤とポートアイランドの間を陸続きにし、ペニンシュラ化することで、にぎわい創出、防災力強化、新たな用地創出や税収増が期待できる。テーマパークなどを誘致できれば、新たな交通インフラ整備も必要であり、神戸が都市構造を継承し、更新していくための挑戦であると考えるがどうか。

かわなみ たかかず
河南 忠和 議員
(自由民主党/中央区)

A 都心・三宮再整備、ウォーターフロント再開発、空港国際化の効果を広げる視点は重要。半島化は回遊性向上や新用地創出に資する一方で、航路などの課題もあるため、まず既存事業を着実に進め、ポートアイランドへの波及、神戸の持続的な成長につなげたい。

12月8日の一般質問から

農業の振興

Q 農業の担い手不足が課題となる中、作業の効率化や負担軽減につながるスマート農業(※2)の普及活用は解決策の一つである。市ではローンや水管理システムなどのスマート農機導入に対する補助を行っているが、農業の持続性を高めるためにも、スマート農機を活用した栽培方法への移行支援をさらに進めるべきでは。

みきこ うえなか 美貴子 議員
(自由民主党/北区)

A スマート農業の普及に向けては、スマート農機を活用した栽培方法への移行が重要である。生産者の理解を深めるため、先進事例の紹介やモデル栽培を実践する場所の設置など、効果的な普及方法を検討し、省力化に向けた新たな取り組みを着実に進めたい。

12月8日の一般質問から

Kobe SUMA PEARLの認知度向上

Q 神戸は世界一の真珠のまちとして知られているが、須磨の海でアコヤ貝を育てる試みが開始され、「Kobe SUMA PEARL」として生産・加工・販売まで一貫して行われていることはあまり知られていない。真珠の養殖も含めて積極的にPRすることで、地場産業の活性化にもつながると考えるがどうか。

すみもと 住本 かずのり 議員
(日本維新の会/須磨区)

A 神戸の地場産業である真珠は加工が主ではあるが、養殖真珠の存在を周知することも、真珠産業の認知度向上や普及啓発につながるのではないかと考えている。今後、認知度向上にどのような取り組みが効果的なのか、生産団体とも協議しながら研究していきたい。

12月9日の一般質問から

Q ジャパンビーチゲームズ須磨(※3)は、須磨海岸の活性化につながる非常にすばらしい取り組みである。須磨エリアのさらなる活性化や神戸のブランド向上などに向け、国際スポーツ大会の誘致が効果的と考えられるが、ビーチバレー ボール世界選手権を須磨海岸に誘致してはどうか。

おおい 大井 としひろ 議員
(躍動の会/須磨区)

A ビーチバレー ボールは国内競技人口も多く、国際大会の誘致は、ビーチスポーツの国内での認知度向上や須磨海岸の活性化に寄与するものと考えられる。実行委員会事務局は、須磨海岸での国際大会開催に向け課題の整理を進めていると聞いており、本市としてもしっかりと連携を取っていきたい。

神戸市会だより 2026年2月 No.228

12月9日の一般質問から

神戸空港島と

ウォーターフロントエリアの将来構想

Q ウォーターフロントの活性化に向け都心三宮再整備との相乗効果を図るために、都心と港湾エリアのアクセス強化が不可欠で、費用対効果が高い都市型ロープウェイの整備を提案したいが、どのように考えるか。

ひらの しょうざん
平野 章三 議員
(無所属/垂水区)



A アクセス強化のうち、都心からウォーターフロント、特にポートアイランド・空港島について中長期的にどのように対応すべきか、都市型ロープウェイの開発動向なども注視しつつ、さまざまなアクセス手法を検討していきたい。

福祉・健康

12月8日の一般質問から

生涯活躍のまちづくり

Q 民間事業者が整備・運営する多世代型介護付きシェアハウス「はっぴーの家ろっけん」では、多様な世代や国籍の人々が施設内で交流し、高齢者を中心とした相互支援の輪が生まれている。このような取り組みを全市に展開することで、高齢者の活躍の場づくりや地域コミュニティの再生などにつながると考えるがどうか。

なんの ゆうこ 議員
(日本維新の会/東灘区)



A 多世代交流による相互の助け合いの仕組みづくりという視点で非常に好ましい取り組みであり、本市としてもこのような取り組みについて話があった場合には、市が有するネットワークを活用するなど、その実現に向けて支援をしていきたい。

12月8日の一般質問から

HPVワクチン接種の勧奨

Q HPVワクチンは接種が3回必要だが、現在使用されている9価ワクチンは、15歳未満、つまり14歳中に接種を開始すれば2回で完了するため、本人の身体的負担、保護者の負担、市の公費負担を軽減することができる。新たに14歳への個別通知を実施し、接種率向上と市民の健康増進を進めてほしい。

かどた まゆみ 議員
(公明党/須磨区)



A ご指摘の点と厚生労働省から推奨されている接種年齢を踏まえ、今後は中学1年生にも個別勧奨を行うとともに、9価ワクチンを15歳未満で接種開始すれば2回で完了できる早期接種のメリットを、保護者や本人にわかりやすく伝えていきたい。

12月9日の一般質問から

JR垂水駅の安全性と利便性の向上

Q 垂水駅のバリアフリー化は、市民の強い要望である。東口のエレベーター設置や、転落防止用のホームドア設置にとどまるのではなく、現在、無人である東口の改札口に係員を常時配置し、高齢者や障がい者などが安心して利用できるよう、JR西日本に強く働きかけるべきではないか。

あかだ 赤田 かつのり 議員
(日本共産党/垂水区)



A 本市では、特にバリアフリー整備が必要な駅を重点要望駅に位置づけ、毎年鉄道事業者に対して直接市長名の要望書を手渡し、働きかけを行っている。垂水駅のバリアフリー化についても、人的対応をはじめとしたソフト面のサービス向上と併せて、引き続き強く働きかけていきたい。

12月9日の一般質問から

介護人材の確保

Q 介護事業者の求人確保は、人材紹介会社に頼らざるを得ない状況であり、一人あたり100万円程度の高額な紹介料が経営を圧迫している。神戸市では「コウベdeカイゴ」(※4)の取り組みを進めているが、介護人材と事業者のマッチングといった視点も必要ではないか。

きど 木戸 さだかず 議員
(こうべ未来/須磨区)



A 求職者が安心感を持って情報にアクセスできるよう「コウベdeカイゴ」Webサイト内に介護事業所検索ページを設けている。また、効果的なPRが実施できるよう事業者向けにセミナーも実施している。今後、同サイトの求職者目線での改善や各関係団体を通じての情報発信など、周知の工夫をしていく。

12月9日の一般質問から

医療の提供体制

Q 中央市民病院で、巨額の赤字、医療事故、労働基準監督署からの是正勧告などの問題が同時に発生している。三次の救命救急センターである中央市民病院に過剰に負担が集中し、病院単体の努力の限界を超えている現状を改めるには、地域全体で救急の受け皿を整備するなど、市全体で対応する必要があるのではないか。

おかだ 岡田 ゆうじ 議員
(新しい自民党/垂水区)



A 市民の中に「何かあれば、まずは中央市民病院に」との傾向があることは否めない。救急医療体制における一次、二次、三次の役割分担を適正に果たせるよう、民間病院の協力も得ながら、市民の意識改革といった視点も含め取り組んでいきたい。

用語説明

※1【木質バイオマスボイラー】

木材チップなどを燃焼して得られる熱を温水や蒸気に変換する設備で、化石燃料に比べてCO₂の排出量を削減できる。

※2【スマート農業】

ロボット技術や情報通信技術(ICT)などの活用により作業を効率化・省力化して、生産性や品質の向上を目指す新しい農業。

※3【ジャパンビーチゲームズ須磨】

ビーチバレー ボールなど、さまざまなビーチスポーツの総合イベント。2025年10月に須磨海岸において開催され、743人の選手が参加し、延べ15,000人の観客が来場した。

※4【コウベdeカイゴ】

介護人材確保プロジェクトのこと。

北神戸総合高校と連携した 主権者教育を実施



2025年12月19日、正副議長を含む12名の議員が高校を訪問し、神戸市が取り組むべき政策をテーマに、生徒と意見交換などを行いました。

2026年度の予算審議（2月議会）に向け、引き続き全力で取り組んでまいります。

※議員氏名下は会派届出名の略称 ※選挙区ごとに氏名50音順

東灘区		
岩佐 けんや 公明党	上畠 寛弘 自由民主党	大野 陽平 自由民主党
外海 開三 日本維新の会	なんの ゆうこ 日本維新の会	西 ただす 日本共産党
平田 正 日本維新の会	松本 のり子 日本共産党	やの こうじ こうべ未来

長田区		
坂口 有希子 公明党	ながさわ 淳一 日本維新の会	平井 真千子 自由民主党
森本 真 日本共産党		

灘区		
浅井 美佳 自由民主党	味口 としゆき 日本共産党	諫山 大介 こうべ未来
川口 まさる 躍動の会	高瀬 勝也 公明党	吉田 健吾 自由民主党

須磨区		
大井 としひろ 躍動の会	門田 まゆみ 公明党	木戸 さだかず こうべ未来
住本 かずのり 日本維新の会	前田 あきら 日本共産党	松本 しゅうじ 自由民主党
村野 誠一 新しい自民党		

中央区		
あわはら 富夫 つなぐ	河南 忠和 自由民主党	のまち 圭一 日本維新の会
萩原 泰三 公明党	三木 しんじろう 日本維新の会	よこはた 和幸 こうべ未来

垂水区		
赤田 かつのり 日本共産党	岡田 ゆうじ 新しい自民党	川内 清尚 こうべ未来
さとう まちこ 日本維新の会	しらくに 高太郎 自由民主党	原 直樹 日本維新の会
平野 章三 無所属	細谷 典功 公明党	壬生 潤 公明党

兵庫区		
岩谷 しげなり 日本維新の会	大かわら 鈴子 日本共産党	菅野 吉記 公明党
平野 達司 自由民主党	村上 立真 自由民主党	

西区		
香川 真二 つなぐ	かじ 幸夫 こうべ未来	黒田 武志 日本維新の会
高橋 としえ 日本維新の会	坊池 正 自由民主党	宮田 公子 公明党
森田 たき子 日本共産党	山口 由美 自由民主党	山下 てんせい 自由民主党

北区		
朝倉 えつ子 日本共産党	伊藤 めぐみ こうべ未来	植中 雅子 自由民主党
うえなか 美貴子 自由民主党	上原 みなみ 無所属	堂下 豊史 公明党
徳山 敏子 公明党	坊 やすなが 自由民主党	山本 のりかず 日本維新の会

●スマートフォンなどで
2次元コードを読み取
ると、各議員のホーム
ページ・SNSにアクセ
スできます。

